

Let's Read! ジュニア版

10歳～12歳にすすめる194冊



Let's Read!

ジュニア版

10歳～12歳にすすめる194冊

広島県読書推進運動協議会

目 次

子どもと「本」との出会いのために

10歳～12歳にすすめる194冊……………1～65

書名索引

凡 例

- 1、本の配列は、書名の50音順となっています。
- 2、本に関する書誌事項は、原則として各本の表紙の記載事項により、書名、副書名、著者・画家・訳編者名、出版社名（または叢書名等）、出版年（改訂版・新装版の年を採用しています）の順になっています。
- 3、本の価格は、本体価格です。
- 4、巻末に書名索引を付けています配列は50音順です。

このブックリストを手にした方へ

10歳～12歳になれば、読書の範囲も広がり、自分の興味に従って、どんどん読み進んでいくことができます。このブックリストには、絵本、物語の新刊や古典、詩集、写真集、ノンフィクションなど、広いジャンルから選ばれた作品が194冊集められています。どの作品も、私たちの心の深いところを揺り動かし、いつまでも私たちを支え、励ましてくれる作品ばかりです。いつの日か、「この本こそが、私の生涯を決めてくれた一冊なのです」と言うような本に出会えるかもしれません。10歳～12歳という年齢は、読書を深める大切な年齢です。このブックリストが、子どもたちの大切な今を逃さず、充実した時間を届ける手助けとなってくれることを願っています。

ブックリスト編集委員一同

このブックリストの掲載図書には、今の時代と異なった社会観などが表現されているものもあります。そのような時代背景を考えながら、これらの作品をたのしんでいただきたいと願っています。

子どもと「本」との出会いのために

このブックリストは、子どもの読書活動を推進する中で、子どもの読書にかかわる方々や図書館・学校から要望の多かった「10歳～12歳向けブックリスト」です。広島県子どもの読書連絡会の方々が中心となって編集したものを、広島県読書推進運動協議会が発行しました。

子どもの「本・読書離れ」が懸念される状況のもと、「子どもに薦めたい本・図書のリストを作成・配布することで、豊かな心を育む教育の一助にしたい」という当会の趣旨に、広島県遊技業防犯協力会連合会に快く賛同をいただき、発刊の運びとなりました。

このブックリストが図書館や学校などあらゆる場において、幅広く活用されるとともに、より多くの子どもたちが本の楽しさを発見し、進んで本を読むようになることを期待しています。

終わりに、編集された関係者の方々及び発刊に向けて御協力いただいた各団体に対し、厚くお礼を申し上げます。

平成18年3月

広島県読書推進運動協議会

会長 連 石 武 則



あ・い・た・く・て

工藤直子 詩

佐野洋子 絵

大日本図書 1991年 1000円

「じぶんにあう」「ひとにあう」「風景にあう」など、何かに「あいたい」という思いでまとめられた詩集。誰かを思って眠れない時、心が痛い時、からっぽの手が寒い時、もっと広くて深い世界に出会えそうな詩46編を収録。



アマガエルとくらす

山内祥子 文

片山健 絵

福音館書店 1999年 1300円

初夏、家に飛び込んできたカエルが秋になっても帰らず冬眠した。カエルとの暮らしは十数年に及び、家族の一員となった生活の中での驚きや喜びを細やかに綴った絵本。ひとつの命を見守った暖かさが、文・絵にあふれている。



あしながおじさん

J・ウェブスター 作

坪井郁美 訳

福音館文庫 2004年 700円

孤児院で育ったジュディーは、「あしながおじさん」のおかげで大学に進学させてもらえることに。条件はただ一つ、大学生活の様子を手紙で知らせる事。新鮮な感動にあふれた彼女の手紙だけで構成されたユーモアあふれる物語。



アラスカたんけん記

星野道夫 文・写真

福音館書店 1986年 1300円

アラスカの自然と野生動物、そこで生活する人々をこよなく愛した著者が子どもにむけて初めて書いた探検記。クマ、氷河、カリブー、オーロラなどの壮大な写真とともに、著者の撮影風景やキャンプの写真もあり、興味深い。



あたまにつまった石ころが

キャロル・オーティス・ハースト 文

ジェイムズ・スティーブンソン 絵

千葉茂樹 訳

光村教育図書 2002年 1400円

世界中の石を集め、「あたまのなかには石ころがつまっているのね」と言われながらも、夢を持ち続けた男性は、遂に博物館の鉱物学部長に……。子どもの頃から石を集め続けた男性の生涯を、彼の子ども目から描いた絵本。



アラビアン・ナイト 上・下

ディクソン 編

中野好夫 訳

岩波少年文庫 2001年 各720円

空想的で不思議なアラブ民話を集めてできた『千一夜物語』の中から、「アラジンと魔法のランプ」「アリ・ババと四十人の盗賊」「船乗りシンドバッドの航海」等16編を子ども向きに再話、編集したもの。繊細な挿絵も美しい。



アリになったカメラマン

昆虫写真家・栗林慧

写真・文 栗林慧

講談社 2002年 1500円

著者は、昆虫の生態を30年以上にわたり撮り続けた写真家。虫の目で「もうひとつの宇宙」を見たいという思いから、ついにはアリの視点で撮れるカメラを完成させる。アリの目を見たアブやカマキリの大きさに驚かされる。



イギリスとアイルランドの昔話

石井桃子 編・訳

J・D・バトン 画

福音館文庫 2002年 750円

「三びきの子ブタ」「トム・ティット・トット」等イギリスの昔話22編とアイルランドの昔話8編を収める。よく知っている話から不思議な雰囲気の話まで多彩な内容で、読み聞かせにもむく。原書版による挿絵も美しい。



アンジェール

ある犬の物語

ガブリエル・バンサン

B L出版 1986年 1300円

車の窓から道路に投げ捨てられた犬は、車の後を必死に追い、あきらめて立ち止まる。その犬を避けようとした車が次々と事故を起こして……。文章はなく、鉛筆デッサン画のみで、人間の身勝手さと犬の悲哀を静かに語る絵本。



イグアナくんのおじゃまな毎日

佐藤多佳子 作

はらだたけひで 絵

偕成社 1997年 1200円

樹里は、「生きている恐竜ならほしいな」と言ったために、面倒なイグアナの世話を押し付けられることになった。しかし、邪魔者イグアナくんも、次第に家族の一員になっていく。誕生日にイグアナを貰った少女と家族の奮戦記。



アンデルセン童話集 1～3

大畑末吉 訳

岩波少年文庫 2000年 各680円

世界中で愛されてきたアンデルセンの作品の中から、永遠に変わらない人の心の真実と愛情を描く「おやゆび姫」「みにくいアヒルの子」「人魚姫」「マツチ売りの少女」「雪の女王」等33編を収録。挿絵も美しい。全3巻。



「イグルー」をつくる

ウーリ・ステルツァー 写真と文

千葉茂樹 訳

あすなろ書房 1999年 1200円

「イグルー」とは、北極地方で暮らすイヌイットとよばれる人たちの雪の家。猟師の親子が雪のブロックを切り出し、イグルーを作っていくまでを白黒の写真と平易な文で説明。自然と調和したシンプルな生活を知ることができる。



ウォーターハウス・ホーキンスの恐竜
 バーバラ・ケアリー 文
 ブライアン・セルズニック 絵
 千葉茂樹 訳
 光村教育図書 2003年 1900円
 恐竜の姿がまだよくわかっていなかった19世紀、わずかな化石のかげから、巨大な実物大模型を作り上げた男の伝記絵本。丹念な調査に基づく絵と文章で、挫折にも負けず仕事に打ち込んだ情熱的な生涯を浮かび上がらせる。



うそつきの天才
 ウルフ・スタルク
 菱木晃子 訳
 はたこうしろう 絵
 小峰書店 1996年 1200円
 「もう、うそはつかない」と誓いながら、性懲りもなくうそをつくウルフ。学校での成績が悪いことを親に隠したため、家出するはめに……。スウェーデンでの少年時代をユーモアたっぷりに描いた自伝的短編。2編を収録する。



海時計職人ジョン・ハリソン
 船旅を変えたひとりの男の物語
 ルイーズ・ボーデン 文
 エリック・プレグバッド 絵片岡しのぶ 訳
 あすなろ書房 2005年 1300円
 経度を測るために、揺れ動く船上でも正確に動く新しい時計が必要とされていた18世紀。ハリソンは、独学で40年以上にもわたる努力を重ね、ついに偉業を成し遂げて、国王にまで認められるようになっていく。伝記絵本。



エーミールと探偵たち
 エーリヒ・ケストナー 作
 池田香代子 訳
 岩波少年文庫 2000年 640円

エーミールは、ベルリンのおばあさんの所へ行く途中、汽車の中でお金を盗まれてしまう。犯人を尾行していると、通りかかった子ども達が、事情を聞いて、次々に協力を申し出てくれる。少年達の友情と冒険を痛快に描いた作品。



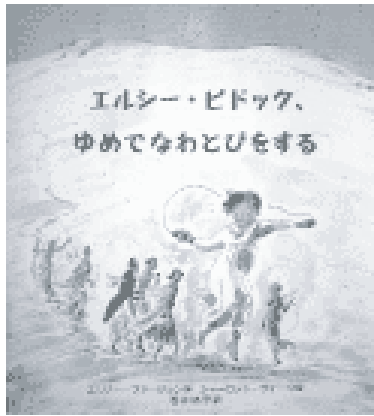
絵で読む広島
 文＝那須正幹
 西村繁男＝絵
 福音館書店 1995年 2600円

生存者の証言をもとに、被爆前の広島が原爆投下によって、どのように変わったかが、絵と文で克明に記録された大型絵本。6年の歳月を要したという本書は、原爆の原理や歴史的経緯にも触れ、核問題資料としても貴重。



絵とき ゾウの時間とネズミの時間
 本川達雄 文
 あべ弘士 絵
 福音館書店 1993年 1300円

大きなゾウはゆっくり生き、小さなネズミはせかせか生きる。しかしどちらも心臓の打つ回数は同じ。だからゾウにはゾウの時間が流れ、ネズミにはネズミの時間が流れている。生物の存在の意味を考えさせてくれる科学絵本。



エルシー・ピドック、ゆめでなわとびをする
 エリナー・ファージョン 作
 シャーロット・ヴォーク 絵
 石井桃子 訳
 岩波書店 2004年 2100円

エルシーは生まれながらの縄跳び上手。その評判は妖精たちにも届き、三日月の晩、秘術を伝授される。時は移り、領主が縄跳びの場所を奪おうとするが……。『作品集5』(岩波書店)の中の1編を躍動感あふれる絵本にしたもの。



おーい ぽぽんた 声で読む日本の詩歌166
 編集委員・茨木のり子・大岡信・川崎洋・岸田衿子・谷川俊太郎
 柚木沙弥郎・画
 福音館書店 2001年 2400円

詩・短歌・俳句166篇を集めた本書は、声に出して読み、耳で聞いて、言葉のリズム、韻律のおもしろさを体で感じながら、鮮やかに言葉のイメージが広がるものばかり。別冊で、解説書「俳句・短歌鑑賞」も付いている。



大きな森の小さな家
 ローラ・インガルス・ワイルダー
 ガース・ウィリアムズ 画
 恩地三保子 訳
 福音館書店 1972年 1600円

雪におおわれる長い冬。ベーコン作り。熊狩り。メープルシロップ収穫。1870年代、北アメリカの深い森の丸太小屋に、両親と姉妹の5人で暮らした日々を5歳のローラの目を通して語る。彼女の成長を綴る自伝的シリーズ1作目。



大どろぼう ホッツェンプロッツ
 プロイスラー 作
 中村浩三 訳
 偕成社 1966年 900円

おばあさんのコーヒー引きが盗まれた。犯人は大どろぼう ホッツェンプロッツ。カスパールとゼップルは、ホッツェンプロッツを捕まえ、コーヒー引きを取り戻すため、名案を思いつくが……。ドイツの作品。シリーズ全3巻。



おじいさんのハーモニカ
 ヘレン・V・グリフィス/作
 ジェイムズ・ステューブソン/絵
 今村葦子/訳
 あすなろ書房 1995年 1300円

ある年、女の子はジョージア州のおじいさんの家ですばらしい夏を過ごす。翌年、病気のため、家を離れたおじいさんを喜ばせようと、孫娘はハーモニカを手に取り……。いきものたちの奏でる夏の調べが聞こえてきそうな絵本。



おじいちゃんの口笛
 ウルフ・スタルク 作
 アンナ・ヘグルンド 絵
 菱木晃子 訳
 ほるぷ出版 1995年 1456円

おじいちゃんがほしいベッラは、老人ホームに行き、天涯孤独のニルスさんに会う。二人は、おじいちゃんと孫として楽しく過ごす。しかし、ベッラがニルスさんに教わった口笛が吹けるようになったときには……。



おばあちゃんは木になった

大西暢夫

ポプラ社 2002年 1300円

岐阜県徳山村がダムの上に沈むことに決まって、村民は街に引っ越したが、数人のお年寄りだけは戻ってきた。著者は、1991年から村に通い、変化する村の様子を写真に撮った。写真に残るお年寄りたちの顔は生き生きとして力強い。



おれがあいつであいつがおれで

山中恒

理論社 1998年 1300円

6年生になって、幼なじみの斉藤一美が転校してきた。幼稚園の頃の失敗をばらされるのも困るが、ある日、もっと大変なことが起こった。一美に体当たりして気を失い、気がつくと二人の身体は入れ替わっていたのだ……。



海賊日誌 少年ジェイク、帆船に乗る

リチャード・プラット 文

クリス・リデル 絵

長友恵子 訳

岩波書店 2003年 2400円

18世紀、独立前のアメリカで、海賊が必要悪とされていた時代の話。船に乗り込んだジェイク少年は、ひょんなことから海賊暮らしをするはめになる。実話をもとにして作られた話が、迫力のある絵と文で日誌風に語られている。



海底二万里 上・下

ジュール・ヴェルヌ 作

私市保彦 訳

岩波少年文庫 2005年 上760円 下880円

期せずして、謎の潜水艦ノーチラス号に囚われの身となったアロナックス教授達3人は、謎めいた魅力を持つネモ船長に導かれ、神秘の海底を南極へ向けて大冒険の旅へ。19世紀に書かれたSF小説は、今でも色あせていない。



かしこいブタのロリポップ

ディック・キング＝スミス 作

ジル・バートン 絵

もりうち すみこ 訳

アリス館 2002年 1300円

貧弱だが、とても賢いブタのロリポップ。わがまま王女の誕生日プレゼントとして、飼い主のジョニーとお城にやって来た。ロリポップのキラキラ光る目は、すぐに王女の心を取りこにした。愛らしい挿絵が温かみを添えている。



風が吹くとき

レイモンド・ブリッグズ 作

さくまゆみこ 訳

あすなろ書房 1998年 1600円

田舎に住む老夫婦は、核攻撃のニュースを聞き、政府仕様書通りのシェルターを作る。これで生き延びられると信じきった二人の上に落とされた強い光と風は……。平凡な老夫婦の日常を襲う核の恐怖をコマ割りの手法で描く。



風につけてきたメアリー・ポピンズ
P. L. トラヴァース 作
林容吉 訳
岩波少年文庫 2000年 720円

子どもたちの世話係として、バンクス家にやってきたメアリー・ポピンズは、着いて早々、階段の手すりを上の方にすべり上がる。子どもたちは、厳しいけれども魅力的な彼女と、心踊る不思議な体験をする。シリーズ全4冊。



かもとりごんべえ
ゆかいな昔話50撰
稲田和子 編
岩波少年文庫 2000年 680円

表題作の他「へやの起こり」「さきざきさん」「鳥呑みじさ」「あわてものの早助」など、日本各地に伝わるおもしろくてゆかいな昔話50話を収録。方言の味わいを残した力強くリズムカルな語り口は、なつかしく心にひびく。



かっぱ印 川あそびブック
阿部夏丸 絵と文
ブロンズ新社 2003年 1550円

川に住むいろいろな生きもの、ウナギ、ナマズ、メダカ、ザリガニなどの生態、つかまえ方、飼い方、そして料理までを詳しく楽しく解説。川に住む生きものと仲良くなり、脳みそから指先まで全部使うのが、かっぱ印の遊び方。



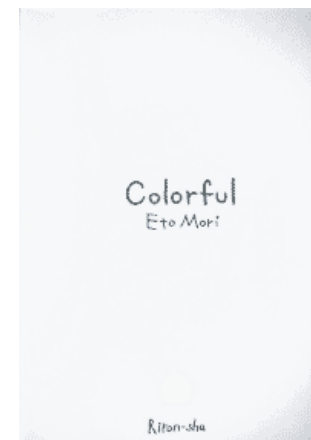
からすたろう
やしまたろう 文・絵
偕成社 1979年 1800円

先生をこわがって何一つ覚えず、皆からのけものにされてきた少年。だが新しく6年を受け持った「いそべ先生」は皆の知らなかった彼の一面を引き出す。学芸会で、からすの鳴き声を披露した少年は……。深い余韻を残す絵本。



亀八
舟崎靖子
絵・かみやしん
偕成社 1992年 1165円

家でも学校でも孤独な、4年生のいさむは、通学路で出会った白いやせた野良犬を「亀八」と名付けて、近くの雑木林で飼うことにする。亀八と触れあう日々が、季節の移り変わりと共に過ぎていき、やがて年老いた犬は……。



カラフル
森絵都
理論社 1998年 1500円

一度死んだ魂が、抽選で再挑戦を与えられた。小林真という少年に乗り移って、人生をやり直すのだ。生還したホームステイ先は、一見平凡で温かい家庭だった。しかし実体は、とんでもない本性を隠した仮面家族だった……。



カランポーのオオカミ王 ロボ

シートン動物記 3

アーネスト・T・シートン 作・絵

今泉吉晴 訳

福音館書店 2003年 900円

ナチュラリストで画家としても知られるシートンが、全てのオオカミに捧げる敬愛に満ちた動物物語の完訳。ニューメキシコ州で出会った誇り高きオオカミ王ロボと人間との闘いを描く。作者自身による躍動感あふれる挿絵つき。



かわせみのマルタン

リダ・フォシェ 文

フェードル・ロジャンコフスキー 絵

いしい ももこ 訳編

童話館出版 2003年 1500円

湧き出た泉が川を下っていく。生き物達が自由に暮らしている楽園に、かわせみの夫婦がやってきて、子育てを始める。やがて雛鳥は巣立ち、自分達も土に戻る。夫婦愛の描写が優しく、命は絶えず受け継がれていくことを知る。



ガリヴァー旅行記

スウィフト 作

中野好夫 訳

岩波少年文庫 2001年 680円

船医のガリヴァーが航海中に遭遇したできごとを、人間社会への風刺を込めて記した18世紀の文学作品のダイジェスト版。子どもたちにもわかりやすい「リリパット」と「ブロブディンナグ」での思いがけない体験を収録する。



がんばれヘンリーくん

クリアー 作

松岡享子 訳

ダーリング 絵

学習研究社 1969年 900円

ヘンリーは小学3年生。ペットのグッピーが増え続けて部屋中グッピーだらけになったり、ドッグショーに出る愛犬アバラーをきれいにするつもりが桃色にしてみたり……。ごく普通の男の子の愉快的な日常を描く。続編多数。



彼の手は語りつぐ

パトリシア・ポラッコ

千葉茂樹 訳

あすなろ書房 2001年 1600円

南北戦争のさなか、白人少年兵のシェルダンは戦闘で大怪我をしたところを黒人少年兵のピンクスに助けられる。ピンクスは殺されて命を落とすが、シェルダンは生き延びて……。著者の家に語り継がれた実話をもとにした絵本。



奇岩城

モーリス・ルブラン 作

榊原晃三 訳

岩波少年文庫 2001年 760円

高校生ボートルレは、持ち前の推理力で殺人事件の解決に迫り、遂に犯人の隠れ家である城にたどり着く。しかし、そこで待っていたのは……。怪盗アルセーヌ・ルパンの魅力が満載された作品で、シリーズ中の傑作として名高い。



キッドナップ・ツアー

角田光代

理論社 1998年 1500円

夏休みの第一日目、ハルは母親と別居中の父親に誘拐された。2ヶ月ぶりの再会にぎくしゃくするハルだったが、さえない父親と、あちこち泊まり歩くうち、次第に父親に心を開いていく。直木賞作家が描くロード・ノベル。



ギリシア神話

石井桃子 編・訳

富山妙子 画

のら書店 2000年 2000円

箱を開けたために苦しみがこの世に現われたパンドラの話や、人間に火を与えたプロメテウスの話など、わかりやすく楽しく読める。ゼウスを中心にオリンポスの山に住む神々の物語と、他にホメロスの叙事詩から2編を収載。



急行「北極号」

C・V・オールズバーク 絵と文

村上春樹 訳

あすなろ書房 2003年 1500円

クリスマス・イブの夜、「ぼく」は急行北極号に乗って一路北へと向った。到着した北極点は、サンタランドだった。大勢の子ども達の中から、一番最初にプレゼントをもらった「ぼく」は……。豊かな色彩のパステル画絵本。



ギルガメシュ王ものがたり

ルドミラ・ゼーマン 文／絵

松野正子 訳

岩波書店 1993年 1900円

5000年以上昔、メソポタミアで粘土板に記された世界最古の叙事詩をもとにした絵本。シュメール人の王、ギルガメシュの生涯を、続編2冊と共に、壮大なスケールで描く。精緻で力強い絵が古代世界をよみがえらせている。



牛乳パックの実験

科学読物研究会編／藤田ひおこ 絵

さ・え・ら書房 1996年 1262円

水に強くて丈夫な牛乳パックはリサイクルに最適。ここでは牛乳パックを使った気象観測の実験や、ピンホールカメラ、ビクリヘビなど子どもの手で簡単に出来るおもちゃを紹介。楽しみながら科学への興味がわいてくる。



木を植えた男

ジャン・ジオノ 原作

フレデリック・バック 絵

寺岡 襄 訳

あすなろ書房 1989年 1600円

フランスの山奥へやってきた旅人は羊飼いの男に会った。男は不毛の地に生命の種を黙々と植え付けていた。40年の無償の行為は、森を甦らせ、豊かな村を作り、人々の心までも潤した。信念を持って行動した男を描いた絵本。



銀河鉄道の夜

宮沢賢治 作

岩波少年文庫 2000年 680円

祭りの夜、ジョバンニとカムパネルラは、銀河鉄道に乗って四次元の世界へ。そこで不思議な人々や風景と出会う。宇宙の闇の深さ、その美しさや荘厳さが伝わってくるような幻想的な作品。ほかにも6編が収録されている。



クヌギ林のザワザワ荘

富安陽子 作

安永麻紀 絵

あかね書房 1990年 1068円

空とぶ雲の研究をしている科学者の矢鳴先生。猫又不動産に紹介されて引越した先のアパートには風変わりな住人たちが住んでいた。心やさしい矢鳴先生と理由ありの水の精やアズキトギ、キツネの親子との心温まる交流を描く。



銀のシギ

ファージョン作品集6

エリナー・ファージョン 作

石井桃子 訳

岩波書店 1975年 2100円

器量よしだが、ものぐさな粉屋の娘ドルは、ある日、1ダースのダンプリングをたいらげてしまう。かあちゃんがあきれている最中に、王様がやって来て……。イギリスの昔話をユーモアと、豊かな想像力でふくらませた作品。



くまのパディントン

マイケル・ボンド 作

ペギー・フォートナム 画

松岡 享子 訳

福音館文庫 2002年 600円

ロンドンに住むブラウン夫妻は、南米ペルーから密航してきたくまの子を見つけ、出会った場所にちなんでパディントンと名づける。好奇心にあふれたパディントンが引き起こす騒動をユーモラスに描く。シリーズの第一作。



くしゃみ くしゃみ 天のめぐみ

松岡享子 作

寺島龍一 画

福音館書店 1968年 1500円

はくしょんという名の男が、くしゃみのおかげで、となり村の長者の娘と結婚する表題作。その他に、しゃっくり、いびき、おなら、あくびを題材にした昔話風の創作を5話収録。どれも明るいユーモラスな結末で屈託なく笑える。



クマのプーさん

A. A. ミルン 作

石井桃子 訳

岩波少年文庫 2000年 680円

小さな男の子、クリストファー・ロビンと、ぬいぐるみの動物であるクマのプーさん、コブタ、ロバのイーヨー達が、魔法の森で繰り広げる様々な冒険。暖かみのあるユーモアにあふれ、幼い子どもの世界そのものを描いている。



くまのブル

リダ・フォシェ 文

フェードル・ロジャンコフスキー 絵

いしいももこ 訳編

童話館出版 2004年 1500円

真冬に生まれた子熊のブルは、母熊から昔話を聞きながら、穴の中で春がやってくるのを待っている。春が来たら、木登りや魚取りなど、森の学校で猛特訓だ。独り立ちしていく熊の姿を柔らかい色彩で描いた絵本。



くらやみ城の冒険

ミス・ビアンカ シリーズ1

マージェリー・シャープ 作

ガース・ウィリアムズ 絵 渡辺茂男 訳

岩波書店 1987年 1800円

大使館で優雅に暮らす白ねずみのミス・ビアンカは、囚人友の会の依頼で、バーナード、ニルスと共に、くらやみ城から囚人を救い出すことに……。勇敢でスリルたっぷりの作戦とは？ 小さな勇士達の胸躍る冒険物語。全7巻。



クマよ

星野道夫 文・写真

福音館書店 1998年 1300円

アラスカの目をみはるような美しい大自然の中で、ゆったりと四季を暮らすクマの親子。鮭を捕り、ブルーベリーを食べ、まるで人間の母子のように戯れている。添えられた詩に、クマと一体化した著者のメッセージがある。



クリスマス人形のねがい

ルーマー・ゴッデン 文

バーバラ・クーニー 絵

掛川恭子訳

岩波書店 2001年 2000円

女の子に買われて、暖かい家に連れて行ってもらうことを願う人形ホリーと、家とお人形をくれるおばあちゃんを求める孤児のアイビー。クリスマス・イブの日、2人の心からの願いがかなう……。緻密で優しい挿絵のついた絵本。



クラバート

オトフリート＝プロイスラー 作

ヘルベルト＝ホルツィング 絵

中村浩三 訳

偕成社 1980年 1600円

14歳のクラバートは、奇妙な夢に導かれて、水車場の職人見習いとなった。だが、その水車場の親方は、実は魔法使いだったのだ。食事と寝床を保証され、魔法を学べる代償は、自分の人生だった。ドイツのファンタジー作品。



クリスマスの猫

ロバート・ウェストール 作

ジョン・ロレンス 絵

坂崎麻子 訳

徳間書店 1994年 1100円

11歳のキャロラインは、おじさんの家に預けられる。友達は、庭で見つけた身重の猫と、塀を乗り越えて現れた少年ボビーだけ。二人は力を合わせて猫を守ろうとするが……。祖母が孫娘に語る60年前のクリスマスの思い出。



グレイ・ラビットのおはなし
アリソン・アトリー 作
石井桃子・中川李枝子 訳
岩波少年文庫 2000年 640円

働き者のグレイ・ラビットは、森のはずれの小さな家に、野ウサギのヘアとリスのスキレルと仲良く暮らしている。ある日、引っ越してきたイタチの話を聞いて……。自然の中で繰り広げられる森の生き物たちの小さな冒険物語。



クローディアの秘密
E.L. カニグズバーグ 作
松永ふみ子 訳
岩波少年文庫 2000年 680円

11歳のクローディアは、綿密な計画を立てて弟と共に家出する。行き先は、メトロポリタン美術館だ。そこで2人は、ミケランジェロの作品と噂される天使の像に惹かれ、その謎に迫っていく。1967年ニューベリー賞受賞作品。



黒いお姫さま ドイツの昔話
ヴィルヘルム・ブッシュ 採話
上田真而子 編・訳
佐々木マキ 絵
福音館書店 1991年

表題作は、死んで炭のようにまっ黒になったお姫さまが、毎晩お棺の番人の首をひねるという不気味な話。他にも、楽しい話や不思議な話など10編を収録。グリムとはひと味違うドイツの昔話で、全ページにある挿絵も楽しい。



クロスセクション 輪切り図鑑
スティーヴン・ビースティー 画
リチャード・プラット 文
北森俊行 訳
岩波書店 1992年 2600円

中世の城やスペースシャトル等、18の建造物を数箇所輪切りにし、断面を描くことによって、内部を見せた大型絵本。形や構造だけでなく、そこでの生活や仕事の様子も緻密に描き込まれており、解説も丁寧でわかりやすい。



黒い島のひみつ
タンタンの冒険旅行 1
エルジェ 作
川口恵子 訳
福音館書店 1983年 1600円

少年記者タンタンと愛犬スノーウィは、いつも謎の事件に巻き込まれてしまう。スコットランドの怪しい黒島で、タンタンたちが発見したものは？1929年スタートのベルギーの古典的長編漫画シリーズ。全24巻（既刊21巻）。



黒ねこの王子カーボネル
バーバラ・スレイ 作
山本まつよ 訳
岩波少年文庫 1985年

10歳のロージーは、忙しいお母さんの手助けをしたくて、そうとは知らずに、魔女から、ほうきと猫の国の王子である黒猫を買う。王子の魔法を解くために、ロージーは奮闘し、退屈な夏休みは一変する。イギリスの物語。



黒ねこのおきやくさま

ルース・エインズワース 作

荒このみ 訳

山内ふじ江 絵

福音館書店 1999年 1200円

ある寒い日に、貧しいおじいさんの家を訪れた痩せた黒猫。すべての食物を黒猫に与え、共に過ごした夜。黒猫が去る時に起こった不思議な出来事とは……。おじいさんの黒猫への優しさで、心暖まる一冊。挿し絵も繊細で美しい。



源平の風 白狐魔記（しらこまき）

齊藤洋

偕成社 1996年 1300円

人間に関心のあったキツネは、白駒山の仙人の元で修行を積み、人間に化けられるようになる。そして、その時々々の戦に巻き込まれていく。歴史上の実在の人物と絡ませ、その時代を鮮やかに蘇らせる大河タイムファンタジー。



けものたちのないしょ話

中国民話選

君島久子 編訳

岩波少年文庫 2001年 680円

鳥や獣の話を聞いて病気を治したり、正直者の男が宝を発見して大金持ちになったりと、日本の民話と類似した話、大陸独自の世界を展開した話など27編を収載。中国のさまざまな民族に語り伝えられてきた話を集めた民話集。



五体不満足

乙武洋匡

講談社 1998年 1600円

先天性四肢切断という障害を持って生まれた著者。彼はマイナス思考をプラスに転じ、不可能を可能に変えた。障害を自分の個性と捉え、今の生活に不満はないと言い切る彼の言葉は、人びとの心のバリアを解く鍵になるだろう。



元気なモファットきょうだい

エレナー・エスティス 作

渡辺茂男 訳

岩波少年文庫 2004年 720円

ママと4人の兄妹で暮らすモファット一家。ハロウィーンのおばけ騒動、ダンスの発表会、末っ子の病気……。子どもらしい日常のエピソードが、20世紀初めのアメリカの小さな町を舞台に暖かく描かれる。続編が3冊ある。



子どもに語るアジアの昔話 1・2

アジア地域共同出版計画会議・企画

松岡享子・訳

こぐま社 1997年 各1600円

近いようでよく知らない、そんなアジアの17ヶ国に伝えられた昔話27話を収録。冒険・悲恋・知恵比べ・笑い話に不思議な話など、どのお話も人間や動物達が生き生きと活躍し、それぞれのお国柄を感じさせてくれる。



子どもに語るグリムの昔話①～⑥

佐々梨代子・野村 ヒロシ 訳
こぐま社 1990年 各1600円

200余りあるグリムの昔話の中から、子どもにも楽しめるもの64話を選び編集されたシリーズ。原書に忠実な翻訳で、素朴で骨太なグリムの世界が描かれている。子どもにも読みやすく、語りのテキストとしても最適。

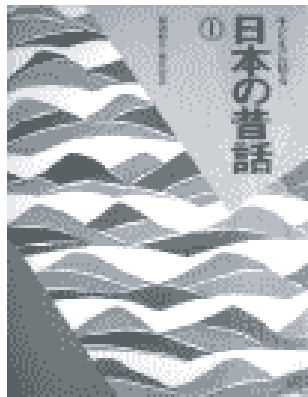


子ねずみラルフのぼうけん

作 ベバリー・クリアリー
訳 谷口由美子

絵 赤坂三好
童話館出版 1996年 1400円

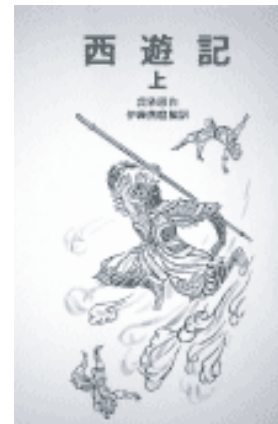
子ねずみラルフは、古いホテルの一室の壁穴に住んでいた。ある日、この部屋に泊まった少年のまっ赤なオートバイのミニカーを見つけ、それにまたがると……。子ねずみと少年の心の交流を軽妙に描いた動物ファンタジー。



子どもに語る日本の昔話①～③

稲田和子・筒井悦子
こぐま社 1995年 各1600円

「桃太郎」や「舌切りすずめ」「浦島太郎」などの有名な昔話から「干支のはじまり」のような由来話まで、全3巻の中に73話を収録。日本各地の方言を生かしつつ、子どもと一緒に楽しめるように再話、編集された昔話集。



西遊記 上・中・下

呉承恩 作

伊藤貴麿 編訳

岩波少年文庫 2001年 上720円 中・下760円

花果山の石から生まれた孫悟空は72通りの変化の術を持つ。インドへ経典を取りに行く三蔵法師のお供をして、猪八戒、沙悟浄と共に妖怪と戦いながら困難な旅を続けていく。16世紀に作られた中国古典のダイジェスト版。



子どものための哲学対話

人間は遊ぶために生きている！

永井均 著

内田かずひろ 絵

講談社 1997年 1000円

人間はなんのために生きているのか？学校なんか行かなくていい？うそをついてもいい？ぼくと猫のペネトレとの対話を通して、自分で問いを立て、自分で答えを発見していく哲学の楽しさを紹介。子どものための哲学入門書。



さすらいの孤児ラスムス

アストリッド・リンドグレン 作

尾崎 義 訳

岩波少年文庫 2003年 720円

里親を求めて孤児院を抜け出したラスムスは、風来坊のオスカルと出会い、一緒に旅をすることになる。ところが、道中、強盗事件を目撃したことで、二人は犯人に狙われて……。国際アンデルセン大賞のきっかけとなった作品。



さよならエルマおばあさん

大塚敦子 写真・文

小学館 2000年 1300円

「多発性骨髄腫」で、長くは生きられないと知ったエルマおばあさんの最後の一年間を、愛猫の目を通して語った写真絵本。死の準備をしながら、最後まで生活を楽しんで自分らしく生き、家族を思いやって旅立つ姿が胸を打つ。



しずく的首飾り

ジョン・エイキン 作

猪熊葉子 訳

岩波書店 1975年 2200円

北風が誕生祝いにくれた「しずく的首飾り」、空のかけらを入れたので飛べるようになったパイ、イースト入りのミルクを飲んでふくらんだネコなど、豊かな想像力から生まれた短編8編を収録。シルエットの挿絵も美しい。



ジーク

斉藤 洋 作

小澤摩純 絵

偕成社 1992年 1400円

獵師の息子ジークは隻眼だが、弓と剣の腕は群を抜いていた。父の死後、都に出たジークは、様々な出会いの中で成長していくが、やがて自らの出生の秘密を知り、国の危機を救うために魔物に立ち向かっていく。続編もある。



シャーロットのおくりもの

E. B. ホワイト 作

ガース・ウィリアムズ 絵

さくまゆみこ 訳

あすなろ書房 2001年 1500円

子ブタのウィルバーは、少女ファーンに可愛いがられ、農場の動物達と一緒に暮らす。ハムにされることに……。同じ納屋に住むクモのシャーロットはそれを救うために、ある「奇跡」を起こす。アメリカの古典的作品の新訳本。



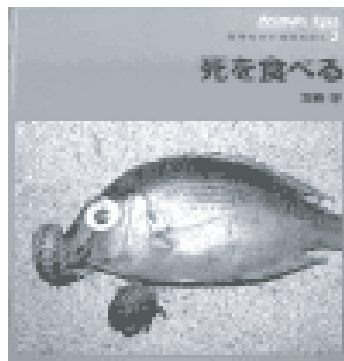
シェイクスピア物語

ラム 作

矢川澄子 訳

岩波少年文庫 2001年 680円

ラム姉弟が、シェイクスピア戯曲のあらすじを、わかりやすく散文に書きあらためたもの。四大悲劇と呼ばれる「ハムレット」「リア王」「オセロ」「マクベス」や、「ロミオとジュリエット」など、11編の作品を収録する。



死を食べる アニマルアイズ2

宮崎学

偕成社 2002年 1800円

動物写真家の宮崎学が、動物の死後ロボットカメラで撮り続けた写真絵本。避けることができない死を直視することによって、誰もが動物の死を食べ、それによって命が繋がっていることが再認識できる。全5巻のシリーズ。



シンドバッドの冒険
 ルドミラ・ゼーマン 文・絵
 脇明子 訳
 岩波書店 2002年 1900円

『アラビアン・ナイト』の中でも特によく知られた、船乗りシンドバッドの奇想天外な冒険譚を絵本化したもの。豪華なペルシャ絨毯のような縁取り模様に囲まれた物語は、東洋的な雰囲気にあふれている。続編が2冊ある。



すえっこメリーメリー
 ジョーン・ロビンソン 作・絵
 松野正子・訳
 大日本図書 1999年 1333円

メリーメリーの4人のお兄さんお姉さんたちは、母の日にめいめい花のプレゼントを用意する。お金の足りないメリーメリーは、何も植えてない、土の入った植木鉢を贈るが……。元気で、めげない末っ子の物語5篇を収録。



じんべえざめ
 新宮 晋
 扶桑社 1991年 1429円

地球に現存する魚の中で一番大きなじんべえざめ。海中で悠々と泳ぐ姿を様々な角度から描いていく。見開きごとに変化する海の色と、じんべえざめの動きが美しい。地球は水の惑星、その中で生きる生命の神秘を伝える絵本。



生命の樹
 チャールズ・ダーウィンの生涯
 ピーター・シス 文・絵
 原田 勝 訳
 徳間書店 2005年 1700円

万物は神が創造したと信じられていた19世紀に『進化論』を発表して、世界を震撼させたダーウィンの伝記絵本。緻密な絵と複数の書体を使った文章とでレイアウトに趣向をこらし、起伏に富んだ彼の生涯を重層的にたどっている。



すえっこ〇（オー）ちゃん
 エディス＝ウンネルスタッド 作
 下村隆一・石井桃子 訳
 ルイス・スロボドキン 画
 フェリシモ出版 2003年 1238円
 5歳の〇ちゃん（オー）は7人兄妹の末っ子。弟か妹がほしくて、猫のクロをむりやり乳母車に乗せたり、おさがが編めたのがうれしくて、お兄さんの髪を編んでしまったり……。おませでいたづらな女の子を描いたスウェーデンの作品。



せいめいのれきし
 バージニア・リー・バートン 文・絵
 いいももこ やく
 岩波書店 1964年 1600円

宇宙に太陽、そして地球が生まれ、やがて生命が誕生してから現在までの歴史を、詩的な文章と、精緻な美しい絵で5幕の劇に仕立てた絵本。私達自身がはてしない時のくさりの先端にいて、歴史の一部であることに気付かされる。



セイリの味方スーパームーン

高橋由為子 作・絵

偕成社 1998年 1000円

生理のおこる体の成長のしくみや、生理期間中の食事・リラックスの仕方など、女の子達のさまざまな疑問や悩みにわかりやすく答えてくれる一冊。カラフルなイラスト付きで、生理の始まった女の子も、この本があれば一安心。



せかいいいちうつくしいぼくの村

小林豊

ポプラ社 1995年 1200円

美しい自然とヤモ一家の様子を描いた舞台は、アフガニスタン。内戦真っ只中での出版。2003年に『せかいいいちうつくしい村へかえる』が出版された時には、内戦は終わりを告げ、美しい村は、みんなの帰りを待っていた。



セロひきのゴーシュ

宮沢 賢治 作

茂田井 武 画

福音館書店 1966年 1100円

町の音楽団でセロをひくゴーシュは、今日も楽長に叱られた。家に帰り、猛然と練習を始める彼の元へ毎夜動物が訪ねてくる。動物たちの要求に答えるうちに、ゴーシュのセロは上手くなっていく。ユーモラスな絵は味わい深い。



大森林の少年

キャスリン・ラスキー 作

ケビン・ホークス 絵

灰島かり 訳

あすなろ書房 1999年 1600円

10歳のマーベンは、町で大流行しているインフルエンザから逃れ、たった一人で、北部の大森林にある木材伐採現場へ向かう。そこで自分に与えられた仕事をこなし、きこりの一員として認められる。少年の成長を描いた絵本。



世界昆虫記

今森光彦

福音館書店 1994年 5000円

虫を通して、人々や風土、それらを取りまく自然の全てに深い愛情をもつようになった著者の約20年間の写真選集。「カラフルな米粒たち」(ヨコバイ)「熱帯のクリスマスツリー」(ホタル)などの昆虫紹介がユニーク。



大千世界の生き物たち

スズキコージ

架空社 1994年 1900円

大千世界には、普段目に見えないだけで、実は多くの生き物が生息している。例えば、旧式便所に住む便所ぶた仮面怪物「ブッタ」や、本の隙間にひそむ「スキママン」など。“奇想天外コージワールド”を存分に堪能できる一冊。



宝島

R・L・スティーブンソン 作

坂井晴彦 訳

寺島龍一 画

福音館文庫 2002年 850円

宿泊中の老海賊の死で、宿屋の息子ジムは、海賊プリントが埋めた宝の地図を手に入れ、地主さんや医者のリブジー先生らと宝島へと向かう。ところが、料理番シルバーは、宝を狙う海賊だった。スリルあふれる冒険物語の古典。



ダンゴムシ

やあ！出会えたね 1

今森光彦 文・写真

アリス館 2002年 1400円

写真家の著者が庭のダンゴムシを飼い、観察し、その生態を写真におさめる。足の動き、食べる様子、脱皮、卵のふ化など、接写によって、肉眼では見ることのできない瞬間を捉えている。身近な自然観察の楽しさが伝わってくる。



たのしいムーミン一家

トーベ＝ヤンソン 作・絵

山室 静 訳

講談社青い鳥文庫 1980年 580円

春、冬眠から覚めたムーミン達が見つけて持ち帰った帽子は、魔法の帽子だった。そのため、家がジャングルになったり、次々と不思議な事件が起きる。美しい自然と愉快的仲間達が織りなす北欧のファンタジー。シリーズ全8冊。



小さい牛追い

マリー・ハムズン 作

石井桃子 訳

岩波少年文庫 2005年 680円

オーラ達4人の兄妹は、牛やヤギ達も引き連れて行く山の牧場での生活を楽しみにしている。この夏、男の子2人は、初めて牛追いの仕事をするのだ。ノルウェーの豊かな自然を背景に子ども達の素朴な日常を描く。続編もある。



旅の絵本

安野光雅

福音館書店 1977年 1300円

訪れた国の風景や街並みが、淡い色調で克明に描かれている字のない絵本。絵の中からお祭りの喧騒や音楽、笑い声が聞こえてくるようだ。絵の中に隠された仕掛けを見つけるのも楽しい。アメリカ編、スペイン編など既刊6巻。



小さい魔女

オトフリート＝プロイスラー 作

大塚勇三 訳

学習研究社 1965年 900円

魔女としてはまだ若い127歳の小さい魔女は、大きな魔女の集まりに参加したくて、よい魔女試験の合格を目指す。友達であるカラスの忠告に従い、魔法で人助けをするが……。日本で40年以上も読まれ続けているドイツのお話。



小さなスプーンおばさん

アルフ＝プリオイセン 作

大塚勇三 訳

学習研究社 1966年 900円

朝、目が覚めたら、ティースプーンくらいに小さくなっていたおばさん。でも、全くあわてず騒がず、イヌやネコ、雨や太陽まで上手に使って家の仕事をこなしていく。小さくなったおばさんが巻き起こす騒動を描く。3部作。



チョコレート工場の秘密

ロアルド・ダール

クエンティン・ブレイク・絵

柳瀬尚紀・訳

評論社 2005年 1200円

貧しい少年チャーリーは、巨大なチョコレート工場を見学できる黄金切符を手に入れ、工場の中へ……。明らかにされる工場の秘密とは？チャーリーが手にする大きな幸運とは？軽妙な挿絵がついた新訳本。続編もある。



地球生活記

世界ぐるりと家めぐり

小松義夫

福音館書店 1999年 5000円

辺境から都会まで30年にわたる取材で集めた1700余枚の家のある風景写真集。その土地の人が地元の材料を使って無理なく自然に造った家の風景の中に、各地に生きる人々のたくましい暮らしぶりが鮮やかに浮かび上がる。



ツバメ号とアマゾン号

アーサー・ランサム全集 1

岩田欣三／神宮輝夫 訳

岩波書店 1967年 2400円

夏休み。ジョン達4人兄妹は、自分達だけで帆船ツバメ号を走らせ、湖の無人島でキャンプをし、海賊を名乗って攻めてくるアマゾン号の姉妹と戦う。12巻のシリーズ全巻に、自然の中で過ごす休暇の楽しさがみなぎっている。



中世の城日誌

少年トビアス・小姓になる

リチャード・プラット 文

長友恵子 訳 クリス・リデル 絵

岩波書店 2003年 2400円

1285年、11歳のトビアスは貴族にふさわしい行儀作法やしきたり、武術を学ぶため、伯父の城に1年間住み込んだ。当時の城の内部、身分の違う人々の暮らし、クリスマス等を日誌形式で紹介する絵本。巻末に詳しい解説付き。



つるにようぼう

矢川澄子 再話

赤羽末吉 画

福音館書店 1979年 1200円

貧しい若者が、雪の中で傷ついていたつるを助ける。その夜、美しい娘が訪ねてきて……。有名な民話を、落ち着いた色調の日本画の手法で、格調高く描いた絵本。よ平とつるの別れの場面は、せつなく美しい余韻を残す。



ティナのおるすばん

イリーナ・コルシュノフ 作

石川素子 訳

矢島真澄 絵

徳間書店 2002年 1500円

ティナは8歳の元気な女の子。はじめて一人でおるすばんをすることになり張り切っていたのに、次々と困ったことがおこる。でも終わってみると、とてもすてきな一日だったことに気づく。子どもの気持ちをていねいに描いた作品。



天才コオロギニューヨークへ

ジョージ・セルデン 作

ガス・ウィリアムズ 絵

吉田新一 訳

あすなろ書房 2004年 1500円

ニューヨークの地下鉄の駅に迷い込んだコオロギのチェスターは、新聞売りマリオのペットになった。そこに来る猫やねずみと仲良くなり、美しい音楽を奏でるチェスターだったが……。少年と動物たちのユーモラスな物語。



手づくりスライムの実験

山本進一著／岩永昭子絵

さ・え・ら書房 1996年 1262円

ぐにゃぐにゃした不思議な手ざわりのスライム。のぼしたり、丸めたり、プチッと切ったり。この本には、身近な材料で簡単に出来るスライムの作り方や、変わったスライムの遊び方などがイラスト入りで数多く紹介されている。



てんとうむし

阪田寛夫

童話屋 1988年 1250円

「へびのあかちゃん めがさめた おめめは さめたが しっぽは ねむい……。」(へびのあかちゃん)などの四季の詩や、おなじみの童謡、あそびごころいっぱい詩を選んで42編を収録。手のひらサイズで親しみやすい。



鉄道記

真島満秀

福音館書店 2002年 5000円

鉄道開業130年、年間の利用者は約1000億人にも及ぶ。新幹線を中心に、網の目のように結ばれた鉄道路線を30年間撮り続けてきた著者の集大成写真集。津々浦々を走る列車から、日本の暮らしが詩情豊かに浮かび上がる。



天動説の絵本

てんがうごいていたころのはなし

安野光雅

福音館書店 1979年 1500円

昔、地面は平らで空の太陽や月が動いている、と考えられていた。人々は神に祈り、魔術や悪魔を恐れた。科学や技術の進歩によってその常識が覆されていく過程を、ページを繰るごとに大地が球形に変化していく絵と共に語る。



どうくつをたんけんする

堀内誠一 さく

福音館書店 1985年 1300円

日本列島には石灰岩の台地が数多くある。その地下には鍾乳洞と呼ばれる洞窟があるが、この洞窟の中はどうなっているのだろう。なにがいののだろう。実際に洞窟を探検しながら、それらの疑問を解き明かしていく科学絵本。



時の旅人

アリソン・アトリー 作

松野正子 訳

岩波少年文庫 2000年 840円

病弱のペネロピーが転地した農園は、昔の領主の荘園だった。ある日、部屋の扉を開けたペネロピーは、囚われのメアリー女王の救出を企てる16世紀の世界に迷い込んでしまう。イギリスの歴史に基づいたタイムファンタジー。



桃源郷ものがたり

文 松居 直

絵 蔡皋 (さいこう)

福音館書店 2002年 1600円

ある日、漁師が舟をこいで川をのぼっていくと、見事な桃の林があらわれて……。中国古代の詩人陶淵明の『桃花源記』をもとに再話。現代の中国を代表する画家蔡皋が表現豊かな筆遣いと明るい色合いで、理想郷の世界へ誘う。



時計づくりのジョニー

エドワード・アーディゾーニ 作

あべ きみこ 訳

こぐま社 1998年 1300円

手先が器用な男の子ジョニーは、本物の大時計を作ろうと決心する。大人は取り合ってくれないが、友達のスザンナに励まされ、絶望感を味わいながらも夢中になって打ち込む……。夢を実現させる姿を描き共感を呼ぶ絵本。



どうぶつニュースの時間

あべ弘士

理論社 2000年 1000円

DTVの動物ニュースは、ハイジャックのニュースからスポーツニュース、天気予報やコマーシャルもある。アナウンサーはリスの森野こりす。解説委員はカピバラのかひはら 徹原さん。ナンセンスギャグ、パロディ満載で、続編もある。



とちめんぼう劇場

おかべりか

福音館書店 1999年 762円

《とちめんぼう 枳麵棒》とは、あわてること、うろたえること、あわて者のこと。そんな主人公達が織りなすエピソードは、平凡な毎日に新鮮な面白さを発見させてくれるものばかり。全篇漫画で構成されているので、どこから読んでもOK!



とびきりすてきなクリスマス

リー・キングマン 作
バーバラ・クーニー 絵

山内玲子 訳
岩波書店 1990年 1200円

ある日、兄の乗った船が行方不明になった。不安な中、彼の無事を祈って家族はいつものようにクリスマスの準備を始める。暖かい家族の愛と、本来のクリスマスの姿を感じさせる作品。美しい挿絵が物語を一層引き立てている。



トム・ソーヤーの冒険 上・下

マーク・トウェイン 作
石井桃子 訳

岩波少年文庫 2001年 各680円

ミシシッピ川のそばの小さな村を舞台に、トム・ソーヤーと、その仲間達が繰り広げる冒険物語。海賊ごっこや宝さがしなど、1800年代の男の子の日常を描いたアメリカの古典。『ハックルベリ・フィンの冒険』は姉妹編。



飛ぶ教室

エーリヒ・ケストナー 作
高橋健二 訳

岩波書店 1962年 1600円

ドイツの高等中学の寮仲間マルチンたち5人組は、クリスマスの出し物「飛ぶ教室」の猛特訓中だ。そこに、宿敵の実業学校との対決の知らせが……。厚い友情と師弟愛に育まれて成長していく多感な少年達を描いた古典的作品。

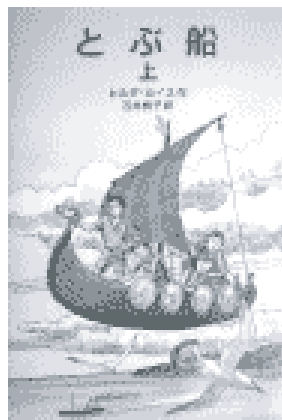


トムは真夜中の庭で

フィリパ・ピアス 作
高杉一郎 訳

岩波少年文庫 2000年 720円

夏休み、おじさん夫婦に預けられたトムは、真夜中に古い大時計が13回時を打つと、秘密の庭園へ続くドアが開かれることを知る。そこでヴィクトリア時代の少女と友達になるが……。不思議な世界に誘われるファンタジー。



とぶ船 上・下

ヒルダ・ルイス 作
石井桃子 訳

岩波少年文庫 2006年 上640円 下680円

4人きょうだいの長男ピーターは、通りの小さな店で20cm位の船を見つけた。こづかいを使い果たして手に入れたその船は、大きさも時空も自由自在、望んだ場所に連れて行ってくれる魔法の船だった。イギリスの物語。



ドリトル先生アフリカゆき

ヒュー・ロフティング 作
井伏鱒二 訳

岩波少年文庫 2000年 680円

ドリトル先生は動物の言葉がわかるお医者さん。ある時、サル仲間に恐ろしい病気がはやっていくという便りが届いて、アフリカに出かける。先生と動物たちの奇想天外な冒険が繰り広げられる全12巻シリーズの第1巻。



鳥の巣の本

鈴木まもる

岩崎書店 1999年 1500円

鳥の巣を偶然見つけた著者は、その形の面白さにひかれ、鳥の巣の研究家になった。巣の材料や作り方、形、抱卵、子育て、巣立ちについてわかりやすく解説している。続く『世界の鳥の巣の本』では、視点は地球規模に拡大する。



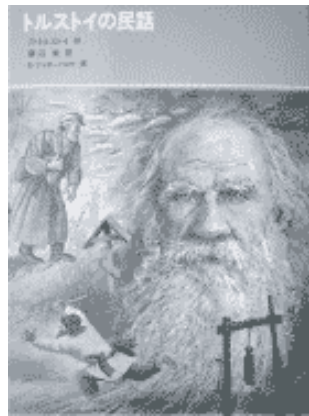
トンボソのおひめさま

バーバー、ホーンヤンスキー 文

石井桃子 訳

岩波書店 1963年 1800円

フランス系カナダ人の間で語り伝えられたお話5編を収載。父の形見の魔法の品々を美しいおひめさまにだましとられた王子が、知恵を働かせて取り戻す表題作や、「金の不死鳥」など、どの話もドラマティックでおもしろい。



トルストイの民話

Л・トルストイ 作

藤沼 貴 訳

Б・デュオードロフ 画

福音館書店 1989年 2300円

人間の飽くなき欲望の愚かさを描いた「人間にはどれだけの土地が必要か」や、愛の大切さを説く「人はなにで生きるか」など、ロシアの文豪トルストイが伝説や民話、聖書を元に書き上げた味わい深い作品17編を収録する。



長くつ下のピッピ

アストリッド・リンドグレン 作

大塚勇三 訳

岩波少年文庫 2000年 680円

髪の毛はニンジンそっくり。靴下は、片方が茶色で、もう片方は黒色。足の2倍はある大きな靴。世界一の力持ちで、風変わりな女の子ピッピの愉快な物語。スウェーデンの作家による、世界中で愛されてきた作品。続刊もある。



トロールものがたり

さく・え イングリ・ドーレア エドガー・ドーレア
やく へんみまさなお

童話館出版 2001年 2000円

ノルウェーの山や洞穴、森の中に住んでいて人間をさらったり、食べたりするトロールは、朝日を浴びると石になると言われている。ちょっぴり恐くて愉快なお話が、柔らかい色調で大胆且つユーモラスに描かれた絵本。



流れ星におねがい

森絵都・作

武田美穂・画

童心社 2002年 560円

桃子は体育係というだけでリレーの選手に選ばれる。運動が苦手なうえ、他のメンバーは協力をしてくれず途方にくれる桃子。そんな時、用務員の仙さんに励まされ、桃子の挑戦が始まるのだが、仙さんは学校を去ることに……。



夏の庭 The Friends

湯本香樹実

徳間書店 2001年 1400円

死んだ人間を見たいという好奇心から町外れに住む老人を観察し始めた3人の少年たち。観察はしだいに老人との深い交流へと変化していく。少年たちと孤独な老人とのかけがえのない夏を描き、映画化、舞台化もされた作品。



人間

加古里子 ぶん／え

福音館書店 1995年 1400円

人間の地球上への出現、人体のしくみ、人の活動の3つの側面から、人間というものを総合的に捉えた大型科学絵本。

「生命の設計書」によって40億年の地球の歴史を引き継ぎ、さらに未来へとつながる人間の素晴らしさが伝わる。



西の魔女が死んだ

梨木香歩

小学館 1996年 1170円

中学生になって1か月、まいは学校へ行けなくなった。そこで英国人で魔女の血をひく祖母の所で暮らすことに。イギリス的な生活の中で、魔女になる方法を教わっているうちに、まいは、自分なりの生き方を見つけていく。



ねずみ女房

R・ゴッデン 作

W・P・デュボア 画

石井桃子 訳

福音館書店 1977年 1200円

家ねずみとして暮らしていた女房ねずみは、家の仕事は何でもした。でも、心の中では、いつも「何か」を求めている。ある日、カゴに捕らわれたハトから、自分の知らない外の世界の話を聞かされて……。味わい深い小作品。



二年間の休暇 上・下

J・ベルヌ 作

朝倉剛 訳

太田大八 画

福音館文庫 2002年 上700円 下650円

夏休暇をヨットで過ごそうとした15人の少年達は、思わぬ事故で難破し無人島に漂着した。反目しながらも困難を乗り越え、島での生活を築いていく少年達の冒険物語。『十五少年漂流記』の名前で親しまれた作品の完訳版。



のっぽのサラ

パトリシア・マクラ克蘭 作

金原瑞人 訳

中村悦子 絵

徳間書店 2003年 1300円

母親を亡くしたアンナ達の家、海辺の町から、のっぽのサラがやってきた。海が好きだと言うサラは、ママになってここにいてくれるのだろうか。アメリカの草原で暮らす一家のやさしい愛の物語。続編に『草原のサラ』がある。



ノルウェーの昔話

アスビョルンセンとモー編から
エーリク・ヴェーレンシオルほか 画
大塚勇三 訳

福音館書店 2003年 1600円

19世紀に、ノルウェーで編まれた民話集から34編を収録。「灰つつき」と呼ばれる男と不思議な仲間達の話や、トロルに出会った男の子達の話など、北欧の人々の暮らしや考え方をよく伝えている。挿絵も物語にふさわしい。



バッテリー

あさのあつこ
佐藤真紀子 絵

教育画劇 1996年 1400円

中1になる春休み、田舎へ越してきた野球少年の巧は、バッテリーを組むことになる豪や仲間たちと出会う。野球を通して、ぶつかり合いながらも成長していく少年たちを描く。文庫本になり、よりハンディになった。全6巻。



パーシーの魔法の運動ぐつ

ウルフ・スタルク 菱木晃子 訳
はたこうしろう 絵

小峰書店 1997年 1300円

パーシーは運動神経がよくて、かっこいい。パーシーの運動靴には魔法の力があるという。あの靴さえあれば、ぼくだってかっこよくなれるんだと、靴がほしくてたまらないウルフ。作者の子ども時代を書いたゆかいな作品。



はてしない物語

ミヒャエル・エンデ 作
上田真而子 佐藤真理子 訳
岩波書店 1982年 2860円

いじめを避けて、古本屋へ逃げ込んだバスチアンは、『はてしない物語』という本を見つけた。夢中になって読み進むうちに、バスチアンは物語の中へ……。想像力で物語の世界の危機を救う少年を描いたドイツのファンタジー。



ハイジ 上・下

ヨハンナ・シュピリ 作
上田真而子 訳

岩波少年文庫 2003年 上720円 下680円

アルプスの壮大な自然の中で、おじいさんと暮らすハイジは、やぎ飼いのペーターたちと幸せな日々を送っていた。ところが、ある日、おばさんに大都会に連れ出されて……。1944年版の素朴な挿し絵がついた児童文学の古典。



花仙人

中国の昔話
松岡享子 文 蔡皋 画
福音館書店 1998年 1100円

何よりも花を愛する秋先の庭は、みごとな花園だった。ある日、張委というならず者が庭で酒盛りを始め、花を折ってしまう。嘆き悲しむ秋先の前に娘があらわれて……。美しい花の描写が心に残る中国明代の昔話の再話。



ハヤ号セイ川をいく

フィリパ＝ピアス

足沢良子 訳

E=アーディゾーニ 絵

講談社青い鳥文庫 1984年 720円

カヌーが縁で仲良くなったデビッドとアダム。アダムの苦況を救うため、古くから伝わる詩をたよりに二人は伝説の宝探しを始める。イギリスの田園風景を舞台に繰り広げられる少年たちのひと夏の冒険を細やかに描く。



火のくつと風のサンダル

作 ウルズラ＝ウェルフェル

訳 関 楠生

童話館出版 1997年 1400円

7歳のチムは、自分が嫌でたまらない。夏休みに、靴屋をしている父親が徒歩旅行を計画。父と子は「火のくつ」「風のサンダル」と名乗って出発する。親子の愛情と信頼、チムの成長をほのぼのとしたユーモアを交えて描く。



バレエ・ダンサー 上・下

ルーマ・ゴッデン

渡辺南都子

偕成社 1997年 各1800円

両親の愛情を一身に集める姉のクリスタルと、天性の才能がありながら顧みられない弟のデューン。共にバレエの道を志し、王室バレエ学校に入学する。バレエにかける姉弟の葛藤と成長、二人を取り巻く人々の人間模様を描く。



秘密の花園

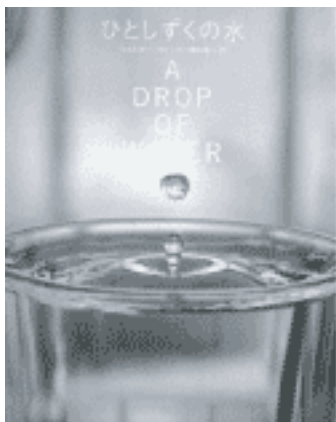
F・H・バーネット 作

猪熊葉子 訳

堀内誠一 画

福音館文庫 2003年 850円

インドで、両親を亡くしたメリーは、イギリスに住むおじの広大な屋敷に引き取られる。嵐の夜に、子どもの泣き声を聞いたメリーは……。謎めいた屋敷と秘密の庭に再び春をもたらす子どもたちの様子を描いた児童文学の古典。



ひとしずくの水

A DROP OF WATER

ウォルター・ウィック

林田康一訳

あすなろ書房 1998年 2000円

ひとしずくの水のさまざまな形や性質をとらえた、透明感あふれる写真絵本。氷、水蒸気、雲、雪の結晶、露と霜など、終わりのない旅を続けていく水の一枚一枚の写真が宝石のように美しい。1997年ホーン・ブック賞受賞作品。



百まいのきもの

文 エリノア・エスティーズ

え ルイス・スロボドキン

訳 石井桃子

岩波書店 1954年 900円

貧乏なのに「百まい、きもの持ってるわ」といって皆にからかわれるワンダ。それを止める勇気がないマディー。そのワンダが、美しい百枚の着物の絵を残して引っ越していった……。少女の心の動きを繊細な絵と共に描いた物語。



ビロードうさぎ

ぶん マージェリィ・ウィリアムズ
やく いいし ももこ
え ウィリアム・ニコルソン
童話館出版 2002年 1400円

ビロードでできたおもちゃの子うさぎは、「ほんとうのもの」になることを願っていた。ぼうやに大切にされた後、捨てられてしまったビロードうさぎに妖精が現れて……。子どもたちに長く愛されてきた作品。挿絵も味わい深い。



不思議の国のアリス

ルイス・キャロル 作
協明子 訳

岩波少年文庫 2000年 640円

本を読む姉の隣で退屈していたアリス。そこに、チョッキを着て時計を持った白うさぎが現れる。驚いたアリスが、うさぎを追って穴に飛び込むと不思議な世界が……。ユーモアとナンセンス満載のイギリスファンタジーの古典。



ひろしまのピカ

丸木 俊
小峰書店 1980年 1500円

1945年8月6日、広島に原爆が落とされた。朝ご飯を食べていたみいちゃんは、お母さんと炎の中を逃げ惑う。様々な死を見続けて4日目、握り締めていた赤いはしに気がつく。迫力ある絵に著者の怒りと悲しみが漂う。



ふたりのロッテ

エーリヒ・ケストナー 作
高橋健二 訳

岩波書店 1962年 1560円

父と暮らす9歳のルイーゼは、夏休みの子どもの家で、自分と瓜二つで母と二人暮らしのロッテと出会う。自分達の秘密を知った2人は、親達に内緒である計画を実行する。ユーモラスな文章と生き生きした挿絵のドイツの物語。



ファールルの昆虫記 上・下

大岡 信 編訳
岩波少年文庫 2000年 各720円

自然と昆虫を心から愛するファールルは、幼少の頃から、粘り強く地道な実験と検証を重ねて、30年がかりで10巻の『昆虫記』を完成させた。その中から、クモの網の秘密、シデムシの埋葬、カマキリの狩りなど11編収録。



ペニーさん

マリー・ホール・エッツ 作・絵
松岡享子 訳

徳間書店 1997年 1300円

年とったペニーさんには、たくさんの個性あふれる動物の家族がいる。ある日、動物たちが隣の畑を食い荒らしてしまうが、大らかなペニーさんは、動物たちをやさしく包み込んで……。白黒の版画の挿絵も表情豊かで楽しい。



冒険者たち

ガンバと十五ひきの仲間

斎藤惇夫 作

藪内正幸 画

岩波書店 1982年 1800円

ドブネズミのガンバと仲間達は、イタチと戦う島ネズミを助けに夢見が島へ。どうもうな白イタチのノロイ率いる大群の攻撃に、知恵を出しあい、勇敢に立ち向かっていくガンバ達……。躍動感にあふれる長編冒険物語。



星の王子さま

サン＝テグジュペリ 作

内藤濯 訳

岩波少年文庫 2000年 640円

サハラ砂漠に不時着した飛行士は、「ほんとうのこと」しか知ろうとしない純真な王子から星の話を聞く。大好きなバラの住む星や、呑み助や命令ばかりする王様の星など、子どもの心を忘れてしまった大人へのメッセージ。



冒険図鑑

野外で生活するために

さとうち藍 文

松岡達英 絵

福音館書店 1985年 1600円

野外は時間割のない自由な空間だ。野外で生活するために必要な、歩く、食べる、寝る、危険との対応に加え、野外生活をより豊かにするために、道具作りや雪遊び、野鳥なども紹介されている。冒険を応援するガイドブック。



ポッパーさんとペンギン・ファミリー

R&F・アトウォーター 著

R・ローソン 絵

上田一生 訳

文溪堂 1996年 1500円

ペンキ屋のポッパーさんの楽しみは、南極の本を読むこと。中でもペンギンは大のお気に入り。ある時、彼の元へ南極からペンギンが届いたから大変なことに……。ペンギン達がひき起こすハプニングの数々を描いた愉快な物語。



ぼくたちのかしの木

ゲルダ・ミュラー 作

ささきたづこ 訳

文化出版局 1992年 1359円

ぼくと妹は、いとこの家に遊びに行き、森で一番素敵な場所に案内される。それは、大きなかしの木が生えている空き地だった。季節に沿って、さまざまに姿を変えていくヨーロッパの森の様子が絵と文で詳しく紹介されている。



ホビットの冒険 上・下

J.R.R. トールキン 作

瀬田貞二 訳

岩波少年文庫 2000年 上720円 下680円

穏やかに暮らすホビット族のビルボは、魔法使いのガンダルフの誘いで、気乗りしないまま旅に出た。それはドワーフたちの奪われた宝を竜から奪い返すための旅だった。危険に満ちた冒険が始まり……。壮大なファンタジー。



魔女ジェニファとわたし

E. L. カニグズバーグ 作

松永ふみ子 訳

岩波少年文庫 2001年 640円

ニューヨーク郊外の小学校に転校してきたエリザベスは、ハロウィーンの日、自分は魔女だという風変わりなジェニファに会う。二人は、魔女としての秘密の訓練を重ねるが……。多感な少女達の友情をドライに描いた物語。



マチルダはちいさな大天才

ロアルド・ダール

宮下嶺夫 訳

クエンティン・ブレイク 絵

評論社 1991年 1600円

早熟な天才少女のマチルダは、愚かな両親と傲慢な女校長に、いつも罵倒されていた。そんな中、唯一の理解者である先生、ミス・ハニーの悲しい境遇を知って、マチルダの超能力は……。イギリスで人気No.1だった痛快な作品。



魔女図鑑

魔女になるための11のレッスン

マルカム・バード 作・絵

岡部 史

金の星社 1992年 2260円

魔女になりたい人必見！魔法のかけ方はもちろん、料理法や庭の手入れ、空とぶほうきの作り方から美しさの秘訣まで、魔女の日常が細かく描かれたユーモアたっぷりの実用書。この一冊で立派な魔女になれることうけあい！



窓ぎわのトットちゃん

黒柳徹子

いわさきちひろ 絵

講談社青い鳥文庫 1991年 760円

「君は、本当は、いい子なんだよ！」といい続けてくれた校長先生。電車の教室。肝試し。温泉旅行。トットちゃんが通ったユニークな小学校の思い出が鮮やかに描かれ、教育や人とのかわりについて多くのことを示唆する。



魔女の宅急便

角野栄子 作

林明子 画

福音館書店 1985年 1500円

13歳になるキキは、一人前の魔女になるために、黒猫ジジを連れて、ほうきに乗って旅立つ。たどり着いたコリコの町で、宅急便の店を開いたキキは……。独り立ちしていくキキの様子を爽やかな挿絵で描いたシリーズ第一作。



魔法使いのチョコレート・ケーキ

マーガレット・マーヒー 作

シャーリー・ヒューズ 画

石井桃子 訳

福音館書店 1984年 1600円

魔法の腕はさっぱりだが、チョコレート・ケーキ作りは得意な魔法使いの話や、葉っぱが犬に変わる話など、ナンセンスや不思議な世界を描いた話8編と、2編の詩を収録。動きのある挿し絵が想像力を一層かき立ててくれる。



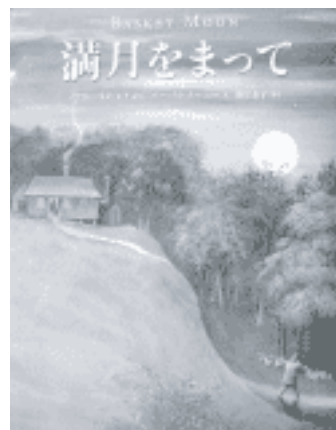
魔法のオレンジの木

ウォルクスタイン 採話

清水真砂子 訳

岩波書店 1984年 2300円

継母にいじめられた娘が魔法のオレンジの木を見つける表題作の他、ハイチに伝わる個性豊かな民話を26編収録。それぞれの話の初めにある採話者の解説により、ハイチの人々の暮らしぶりがわかり、話への理解がさらに深まる。



満月をまって

メアリー・リン・レイ ぶん

バーバラ・クーニー え

掛川恭子 やく

あすなろ書房 2000年 1400円

100年以上前のアメリカ。カゴを作って生計を立てる父を尊敬する少年は、カゴを売りに行った先で、みじめな思いを味わうが……。父から子へ引き継がれていく、自然と共に生きる山の暮らしが美しい繊細な絵で描かれている。



まぼろしの小さい犬

フィリパ・ピアス 作

猪熊葉子 訳

岩波書店 1989年 1800円

誕生日に犬をもらえると心待ちにしていた少年の元に届いたのは、額に入った犬の絵だった。深く失望した少年はやがて自分だけの「まぼろしの犬」を飼いはじめる。少年の心の葛藤と、それを乗り越えていく過程を描いた作品。



みにくいシュレック

ウィリアム・スタイグ 文と絵

おがわえつこ 訳

セーラー出版 1991年 1500円

へびさえ逃げだし、魔女も気分が悪くなるほど醜いシュレック。自分より醜い王女と結婚するという占いを聞いて、稲妻、雷ものともせず、ドラゴンもやっつけ、張り切って進んでいくと……。ユーモラスで軽妙な味わいのある絵本。



真夜中のパーティー

フィリパ・ピアス 作

猪熊葉子 訳

岩波少年文庫 2000年 640円

真夜中、一びきのハエに起こされたチャーリーが台所に行ってみると……。子ども達だけの内緒事の楽しさを生き生きと描いた表題作をはじめとする、子どもの日常を鋭く切り取った短編集。どの話もラスト数行の結末が冴える。



村は大きなパイづくり

ヘレン・クレスウェル 作

猪熊葉子 訳

岩波書店 1970年 2000円

ダンビー村のパイづくり、ローラー家に、2000人分の巨大なパイを焼いてくれという依頼が舞い込む。パイの競技会に優勝するためだ。パイ型は？かまどは？材料の分量は？10歳のグラベラと両親の奮闘が始まった……。



名探偵カッレくん
アストリッド・リンドグレン 作
尾崎 義 訳
岩波少年文庫 2005年 680円

スウェーデンの田舎町に住む、自称“名探偵”のカッレは、夏休みに隣りの家を訪れたエイナルおじさんの行動に不審を抱く。密かに調査を開始して、核心に迫った矢先、仲間達と城跡へ閉じ込められてしまう……。続編もある。



やかまし村の子どもたち
リンドグレン 作
大塚勇三 訳
岩波書店 1965年 1900円

スウェーデンの田舎「やかまし村」には家が3軒。子どもは6人だけ。大自然の中でのどかな暮らし、楽しい遊びや学校生活を、等身大の子どもの心に沿って素直に描く。挿し絵も親しみやすい。子どもに人気の3部作。



モギ ちいさな焼きもの師
リンダ・スー・パーク
片岡しのぶ 訳
あすなろ書房 2003 年 1300円

橋の下で老人と暮らす孤児のモギは、青磁の焼き物を壊してしまい、焼き物師の手伝いをする事に……。厳しい焼き物師の親方や、おかみさんに見守られて成長していくモギの姿を描く。2002年度ニューベリー賞受賞作品。



野鳥の図鑑
にわやこうえんの鳥からうみの鳥まで
藪内正幸 さく
福音館書店 1991年 3200円

日本の野鳥の約500種の中から、身近な鳥、珍しい鳥など、生息している環境別に235種の野鳥が紹介されている。季節を感じさせる背景に、ひと目で特徴がわかるように、鳥の絵が大きく描かれ、見て楽しめる図鑑になっている。



モモ
ミヒヤエル・エンデ 作
大島かおり 訳
岩波少年文庫 2005年 800円

町はずれの円形劇場跡に住むモモは、話を聞くだけで人を幸せにする不思議な少女だった。ところが、そこへ、町の人たちの時間を奪っていく灰色の男達「時間どろぼう」がやってきて……。現代社会への風刺が感じられる作品。



やまとゆきはら 白瀬南極探検隊
関屋敏隆 さく
福音館書店 2002年 2200円

明治末、白瀬^{のぶ}率いる探検隊が南極点をめざして出発。赤道を越える長い船旅、カラフト犬がひく犬ぞりでの壮絶な突進。淡々とした文章と力強い版画が厳しい極地での探検隊の様子をよく伝え、白瀬の不屈の闘志が胸に迫る。



やまんば山のモッコたち

富安陽子 作

降矢奈々 画

福音館書店 1986 年 1500円

モッコとは山に住む不思議な生き物のこと。天狗、河童、雪女などのモッコ達が自然の中で気ままに暮らしている「やまんば山」。ある日、村の男の子啓太は山姥の娘「まゆ」と出会う。山姥とまゆ、啓太が繰り広げる冒険物語。



床下の小人たち

メアリー・ノートン 作

林 容吉 訳

岩波少年文庫 2000年 680円

田舎の古い家の台所の床下に、必要な物は、すべて人間から借りて暮らしている小人達がいた。ある日、人間の男の子に見られてしまい……。小人達の暮らしや思いがリアルに描かれたイギリスのファンタジー。続編が4冊ある。



夕あかりの国

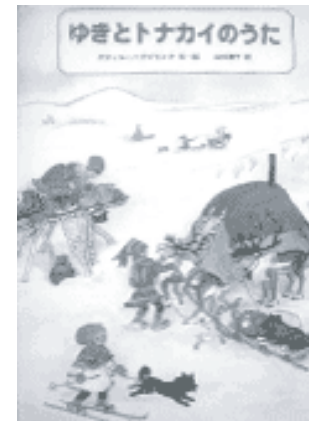
アストリッド・リンドグレン 文

マリット・テルンクヴィスト 絵

石井登志子 訳

徳間書店 1999年 1600円

病気のために、ずっとベッドで過ごしている少年がいた。ある日、不思議なおじさんがやってきて、「夕あかりの国」に少年を連れて行ってくれる。ここでは、足の悪い少年も走ることができた……。不思議な余韻を残す作品。



ゆきとトナカイのうた

ボディル・ハグブリンク 作・絵

山内清子 訳

ポプラ社 2001年 1300円

ラップランドに住むサーメの人々は、集団で、トナカイの群れと共に暮らす。壮大で厳しい自然の中で、遊牧民の伝統的な生活が続ける人々の暮らしぶりが紹介されている絵本。色彩豊かな絵は細かく描きこまれていて楽しい。



ゆかいなホーマーくん

ロバート・マックロスキー 作

石井桃子 訳

岩波少年文庫 2000年 640円

アメリカの田舎町に住むホーマーは、どこにでもいるような男の子。ペットのスカンクのおかげで強盗をつかまえたり、おじさんの店のドーナツ製造機がとまらなくなったり……。ホーマーのまわりでおこる愉快的な出来事を描く。



雪の写真家ベントレー

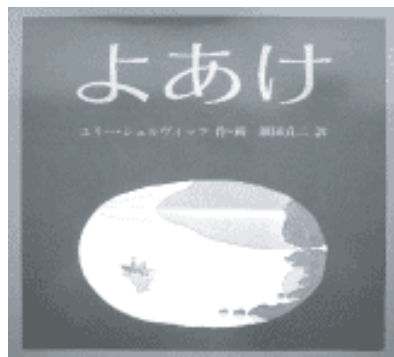
ジャクリン・ブリッグズ・マーティン 作

メアリー・アゼアリアン 絵

千葉茂樹 訳

BL出版 1999年 1400円

農夫でアマチュア写真家のベントレーは、雪の研究と、結晶の写真撮影に一生を捧げた。世界中で高く評価されたその業績と、彼の静かな情熱が、素朴で温みのある木版画で描かれた伝記絵本。1999年度コールドコット賞受賞。



よあけ

ユリー・シュルヴィッツ 作・画
瀬田貞二 訳
福音館書店 1977年 1200円

祖父と孫が湖の岸辺で眠り、めざめ、湖に漕ぎ出す。太陽が昇り、あたりが緑色に輝く。暗い闇から夜明けを迎える自然の時の流れを、青の濃淡を基調とした色彩で描く。端正な言葉がその世界をさらに深め、読者を魅了する。



羅生門 杜子春

芥川龍之介 作
岩波書店 2000年 640円

人の心の薄情さを知って、仙人鉄冠子の弟子となり、修行に励む若者の話「杜子春」など、中国の説話を元に作られた話や、日本の説話を元にした「鼻」「羅生門」など11編の短編を収録。警句集「侏儒の言葉」も併録。



ヨーンじいちゃん

ペーター＝ヘルトリング 作
上田真而子 訳
偕成社 1985年 1400円

ヤーコプの家にヨーンじいちゃんがやってきた。家族の一員になったおじいちゃんは次々に騒ぎを起こし、一家は振り回される。だが、元気いっぱいだったヨーンじいちゃんは……。老いと死を間近で見守る家族の姿が温かい。



ルドルフとイッパイアッテナ

斉藤 洋・作
杉浦 範茂・絵
講談社 1987年 1300円

ひよんな事から野良猫になってしまった子猫のルドルフは、イッパイアッテナやその仲間の猫たちと出会い、野良猫として生きる方法だけでなく、人生をいかに生きるべきかを学んでいく。ルドルフの成長物語。続編が2冊ある。



ライオンと魔女

C. S. ルイス 作
瀬田貞二 訳
岩波少年文庫 2000年 680円

ルーシィ達4人のきょうだいが、お屋敷の衣装だんすの中からたどりついた不思議な国ナルニアは、白い魔女によって、永遠の冬にされていた。空想の国ナルニアの興亡を描いた壮大なファンタジー。シリーズ全7巻の1巻目。



ルピナスさん

—小さなおばあさんのお話—
バーバラ・クーニー さく
かけがわやすこ やく
ほるぷ出版 1987年 1300円

おじいさんとの約束「世の中をもっと美しくする」ことを胸に刻んだ少女は、やがて老後を迎え、その約束を果たすときが……。彼女の人生を通して、生きる意味を語りかけてくれる絵本。ルピナスの花に合わせた色調が美しい。



ローワンと魔法の地図

エミリー・ロッドダ 作

さくまゆみこ 訳

佐竹美保 絵

あすなろ書房 2000年 1300円

リンの村を流れる川の水がなくなってしまった。このままでは、家畜も人も生きていけない。原因をつきとめるため、魔の山に行くことになったが、その役目を内気で臆病なローワンが受けることになって……。シリーズがある。

若草物語



若草物語

L・M・オールコット 作

矢川澄子 訳

T・チューダー 画

福音館書店 1985年 2300円

美しいメグ、作家志望のジョー、内気なベス、画才溢れるエミリー。マーチ家の四人姉妹は、従軍牧師の父の留守中、愛情豊かな母の元で、個性豊かに成長する。南北戦争の時代を背景に姉妹の1年間を描いたアメリカの古典。

【書名索引】

【あ】

あ・い・た・く・て	1
あしながおじさん	1
あたまにつまった石ころが	1
アマガエルとくらす	2
アラスカたんけん記	2
アラビアン・ナイト	2
アリになったカメラマン	3
アンジュール ある犬の物語	3
アンデルセン童話集	3

【い】

イギリスとアイルランドの昔話	4
イグアナくんのおじゃまな毎日	4
「イグルー」をつくる	4

【う】

ウォーターハウス・ホーキンズの恐竜	5
うそつきの天才	5
海時計職人ジョン・ハリソン	5

【え】

エーミールと探偵たち	6
絵で読む広島の実験	6
絵ときゾウの時間とネズミの時間	6
エルシー・ピッドク、ゆめでなわとびをする	7

【お】

おーい ぼぼんた	7
大きな森の小さな家	7
大どろぼうホッツェンプロッツ	8
おじいさんのハーモニカ	8
おじいちゃんの口笛	8
おばあちゃんは木になった	9
おれがあいつであいつがおれで	9

【か】

海賊日誌	9
海底二万里	10
かしこいブタのロリポップ	10
風が吹くとき	10
風にのってきたメアリー・ポピンズ	11
かっぱ印川あそびブック	11
亀八	11
かもとりごんべえ	12

からすたろう	12
カラフル	12
カランポーのオオカミ王 ロボ	13
ガリヴァー旅行記	13
彼の手は語りつぐ	13
川あそびブック	11
かわせみのマルタン	14
ガンバと十五ひきの仲間	53
がんばれヘンリーくん	14

【き】

奇岩城	14
キッドナップツアー	15
急行「北極号」	15
牛乳パックの実験	15
ギリシア神話	16
ギルガメシュ王ものがたり	16
木を植えた男	16
銀河鉄道の夜	17
銀のシギ	17

【く】

くしゃみくしゃみ天のめぐみ	17
クヌギ林のザワザワ荘	18
くまのパディントン	18
クマのプーさん	18
くまのブル	19
クマよ	19
クラブート	19
くらやみ城の冒険	20
クリスマス人形のねがい	20
クリスマスの猫	20
グレイ・ラビットのおはなし	21
黒いお姫さま ドイツの昔話	21
黒い島のひみつ	21
クローディアの秘密	22
クロスセクション 輪切り図鑑	22
黒ねこの王子カーボネル	22
黒ねこのおきやくさま	23

【け】

けものたちのないしょ話	23
元気なモファットきょうだい	23
源平の風	24

【こ】

声で読む日本の詩歌166	7
五体不満足	24
子どもに語るアジアの昔話	24
子どもに語るグリムの昔話	25
子どもに語る日本の昔話	25
子どものための哲学対話	25
子ねずみラルフのぼうけん	26

【さ】

西遊記 上・中・下	26
さすらいの孤児ラスムス	26
さよならエルマおばあさん	27

【し】

ジーク	27
シートン動物記	13
シェイクスピア物語	27
しずくの首飾り	28
シャーロットのおくりもの	28
白狐魔記	24
白瀬南極探検隊	60
死を食べる	28
シンドバッドの冒険	29
じんべえざめ	29

【す】

すえっ子O（オー）ちゃん	29
すえっこメリーメリー	30

【せ】

生命の樹	30
せいめいのれきし	30
セイリの味方スーパームーン	31
せかいいちうつくしいぼくの村	31
世界昆虫記	31
セロひきのゴーシュ	32

【た】

大森林の少年	32
大千世界の生き物たち	32
宝島	33
たのしいムーミン一家	33
旅の絵本	33
ダンゴムシ やあ！であえたね	34
タンタンの冒険旅行	21

【ち】

小さい牛追い	34
小さい魔女	34
小さなスプーンおばさん	35
地球生活記	35
チャールズ・ダーウィンの生涯	30
中世の城日誌	35
チョコレート工場の秘密	36

【つ】

ツバメ号とアマゾン号	36
つるようぼう	36

【て】

ティナのおるすばん	37
手づくりスライムの実験	37
鉄道記	37
天才コオロギニューヨークへ	38
てんとうむし	38
天動説の絵本	38

【と】

どうくつをたんけんする	39
桃源郷ものがたり	39
どうぶつニュースの時間	39
時の旅人	40
時計つくりのジョニー	40
とちめんぼう劇場	40
とびきりすてきなクリスマス	41
飛ぶ教室	41
とぶ船	41
トム・ソーヤーの冒険	42
トムは真夜中の庭で	42
ドリトル先生アフリカゆき	42
鳥の巣の本	43
トルストイの民話	43
トロールものがたり	43
トンボソのおひめさま	44

【な】

長くつ下のピッピ	44
流れ星におねがい	44
夏の庭	45
ナルニア国ものがたり	63

【に】

西の魔女が死んだ	45
----------	----

二年間の休暇	45	魔法のオレンジの木	57
人間	46	まぼろしの小さい犬	57
【ね】		真夜中のパーティー	57
ねずみ女房	46	満月をまって	58
【の】		【み】	
のっぼのサラ	46	ミス・ビアンカ シリーズ1	20
ノルウェーの昔話	47	みにくいシュレック	58
【は】		【む】	
パーシーの魔法の運動ぐつ	47	村は大きなパイづくり	58
ハイジ	47	【め】	
バッテリー	48	名探偵カッレくん	59
はてしない物語	48	【も】	
花仙人	48	モギ ちいさな焼きものの師	59
ハヤ号セイ川をいく	49	モモ	59
バレエダンサー	49	【や】	
【ひ】		やあ！出会えたね1 ダンゴムシ	34
ひとしずくの水	49	やかまし村の子どもたち	60
火のくつと風のサンダル	50	野鳥の図鑑	60
秘密の花園	50	やまとゆきはら	60
百まいのきもの	50	やまんば山のモッコたち	61
ビロードうさぎ	51	【ゆ】	
ひろしまのピカ	51	夕あかりの国	61
【ふ】		ゆかいなホーマーくん	61
ファーブルの昆虫記	51	床下の小人たち	62
不思議の国のアリス	52	ゆきとトナカイのうた	62
ふたりのロッテ	52	雪の写真家ベントレー	62
【へ】		【よ】	
ペニーさん	52	よあけ	63
【ほ】		ヨーンじいちゃん	63
冒険者たち	53	【ら】	
冒険図鑑	53	ライオンと魔女	63
ぼくたちのかしの木	53	羅生門 杜子春	64
星の王子さま	54	【る】	
ポッパーさんとペンギン・ファミリー	54	ルドルフとイッパイアッテナ	64
ホビットの冒険	54	ルピナスさん	64
【ま】		【ろ】	
魔女ジェニファとわたし	55	ローワンと魔法の地図	65
魔女図鑑	55	ロボ	13
魔女の宅急便	55	【わ】	
マチルダは小さな大天才	56	若草物語	65
窓ぎわのトットちゃん	56	輪切り図鑑 クロスセクション	22
魔法使いのチョコレート・ケーキ	56		

《編集委員》

梅	地	佳代子	恵	村	栄	子
小	林	いづみ	下	田	美	紀子
野	間	きみ子	檜	垣	由	美子
福	田	由紀子	三	浦	幸	子
村	上	招	子	山	中	雅
吉	田	由紀子				

《執筆協力者》

石ヶ坪よしえ	岡崎伊勢子	坂本弥千恵	神野	寿代	高岡	文
畠中 厚子	古川 敬子	松野あつ美	三吉	貴子	村本	佐知子

《編集協力者》

広島県立図書館

《表紙 絵》

長 新太

(ご遺族のご厚意に深く感謝いたします)

Let's Read!

ジュニア版

10歳～12歳にすすめる194冊

平成18年3月 発行

編集 10歳～12歳向けブックリスト編集委員会
発行 広島県読書推進運動協議会
〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47
広島市県立図書館内 082-241-4995

《協力団体》

広島県遊技業防犯協会連合会